

栄養健康研究会

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	特になし
3,4 月	<p>3 月 18 日、第 39 回茶情報分科会を開催。</p> <p>茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの成果発信の手続きについて確認を行った。</p> <p>現行テーマである茶成分データベース拡張の収束に向けての手順の確認および新たに取り組むテーマ案の内容について議論を行った。</p>
5,6 月	<p>5 月 20 日、第 40 回茶情報分科会を開催。</p> <p>① 茶類の有効性・安全性情報の発信：部会内特別プロジェクトの成果発信に伴う手続きについて確認を行った。</p> <p>② 茶成分データベース：茶試料の保存法および未分析試料の扱いについて確認を行った。</p> <p>③ 茶類研究部会新規テーマ：茶情報分科会終了後、新たに取り組むテーマの方向性について議論を行った。</p>
7,8 月	<p>7 月 5 日、第 41 回茶情報分科会を開催。</p> <p>1. 茶類の有効性・安全性情報の発信：投稿論文がオープンアクセスとなった。</p> <p>2. 茶成分データベース：茶試料の保存法および未分析試料の扱いについて決定した。得られたデータは部会内で共有する。</p> <p>茶類研究部会新規テーマ：紅茶の成分研究、テアフラビン等有効成分に関する研究を、情報収集、勉強会を中心に進める。改めてメンバーを募集する。</p>
9,10 月	<ul style="list-style-type: none"> 茶成分データベース：静岡県立大学で、中国茶試料の測定試料を調製した。カテキン、カフェインを分析中。得られたデータは部会内で共有する。 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集、勉強会を中心に進めることを決定した。
11,12 月	<p>11 月 14 日会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶成分データベース：分科会での中国茶試料の測定結果の報告。カテキン、カフェインの測定結果を分科会内で共有した。 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集することを決定。中山先生と鈴木氏で、収集する情報に対する内容を打ち合わせて、たたき台作成する。